

# 広報

# えりも

2011

6月号

№.871



ウニなどの販売所前には、多くの人々が並びました。

## 初めてのイベント「えりも うに祭り」

4月30日、東日本大震災のチャリティーイベントとして、えりも漁協や料飲店組合などで組織された実行委員会が灯台公園で開催した「えりも うに祭り」には、ウニの販売を待ち望む来場者が開始3時間前から立ち並び、会場を埋め尽くしました。

震災でえりも町のウニも被害を受け、行事の中止も検討されましたが、関係者の努力で開催にこぎつけ、初めてのイベントはその努力が実る大盛況となりました。

# 海の幸直売会deしよや〜

# 満開の庶野さくら公園で開催



出店数も増えて今年も行列となった直売店

五月十四日、サクラが満開の庶野さくら公園で「海の幸直売会deしよや〜」が開かれ、えりもの特産物とサクラ目当ての観光客で、会場は賑わいをみせていました。

この直売会は、襟裳岬以東地域マリビジョン協議会が主催したもので、今年で二回目の開催です。出店数も増え、活ホッキや活灯台ツブのほか、サメガレイの切り込みなどの水産加工品、短角牛肉製品の屋台が並び、販売開始前から行列となりました。特に、煮ダコの頭と活ホッキは、販売早々に売り切れる人気となりました。また、庶野漁協女性部のアラ汁が花見客から「温まる」と好評を博していました。

今年のサクラは、十日前の降雪で開花への影響が心配されましたが、この日にちょうど見頃の時期を迎え、公園の芝生では十組ほどが、家族や友人、仕事仲間と共に花見を楽しんでいました。



アラ汁を食べながら和やかに談笑する花見客



今年も見事な花を咲かせていた樹齢300年を超えると言われている夫婦桜



花見を楽しむ姿も数多く見られました。

# 7月24日で、地上、BSアナログ放送終了 地デジ化の準備はお済みですか

アナログのままでは、7月24日以降テレビが見られなくなります

テレビのアナログ放送終了に伴う地上デジタル（地デジ）化については、テレビ、新聞などを始めとする各媒体がお知らせしており、広報紙でもたびたび取り上げてきました。間近に迫った地デジ化について、その対応方法をもう一度お知らせします。

## ●七月からお知らせ画面が表示

七月一日以降、アナログ放送を受信しているテレビは、現在の画面上下部分にあるお知らせに加え、番組の画面上にも「お知らせ」が表示されるようになります。

七月二十四日正午からは画面全体にお知らせが表示され、二十四時には何も映らなくなります。

## ●地デジを見るのに必要なもの

地デジ放送は、地デジ放送対応テレビをご用意していただくか、従来のアナログテレビを使い続けたい方は、地デジチューナー又は地デジチューナー内蔵録画機器などを接続することで、視聴できます。アンテナはUHFアンテナが必要です。

電波の状態によって、アナログテレビで視聴できても、地デジテレビで視聴できないケースもありますので、お早目にご用意し、確認してください。もし、視聴でき

なければ、デジサポ道央（下欄参照）までお問い合わせください。

## ●国の支援策

地デジ対応の費用は、基本的に視聴者ご自身が行うことになっていきますが、経済的な理由などで地デジ放送を受信できない世帯に対しては、次のとおり、簡易な無償チューナーの給付などを行っています。詳しくは、下欄の総務省地デジチューナー支援実施センターまでお問い合わせください。いずれの支援も七月二十四日が申し込み期限です。

## 低所得者世帯向け支援

支援対象は、まだ地デジ放送に対応しておらず、次の①～③のNHK受信料が全額免除となっている世帯です。簡易なチューナー一台の無償給付とアンテナなどの改修支援があります。

①生活保護世帯等の公的扶助を受

給している世帯

②障がい者のいる市町村民税非課税世帯

③社会福祉施設入所者

## 市町村民税非課税世帯支援

支援対象は、①～③の条件をすべて満たす世帯で、簡易なチューナー一台が無償給付されます。アンテナ改修支援はありません。

①世帯全員が市町村民税非課税の措置を受けている世帯

②地デジ放送を視聴できていない世帯

③NHKと放送受信契約を結んでいる、あるいは結ぼうとしている世帯

## ●詐欺に注意

テレビの調査会社やアンテナ工事業者を装い、不当な費用を請求する悪徳商法が全国各地で見られます。行政機関や放送局がお金を請求することはありませんので、ご注意ください。

## 地デジ臨時相談コーナーを開設します

地デジのさまざまな相談に応じているデジサポでは、役場庁舎ロビーに、地デジに関する相談コーナーを設けます。

デジサポ道央へ直接つながる電話機を備え付けるほか、パンフレットも用意しています。

■期間 6月15日～8月26日

デジサポ道央 ☎011-351-1155

総務省地デジチューナー支援実施センター

☎0570-033840 又は ☎044-969-5425

NHKふれあいセンター（免除に関する問い合わせなど）

☎0570-000588 又は ☎050-3786-5109

# 定例町議会

先月号に引き続き、三月定例町議会の一般質問を要約して掲載します。

小川悠紀弥議員

## 目黒地区の今後の施設について

◆質問 将来、日高目黒郵便局を改築した際には、コミュニティセンターとして活用できないか。

●答弁 コミュニティセンターとしての施設では、例えばバス待合所となれば、防災上の観点から検討していかねばならないなど、財源対応も含めて課題となる事項も多くあるが、議員が懸念されることは学校が閉校されてからの元気・活気ではなからうかと思う。

その元気・活気をこの地からと、「地域の特性を生かした魅力ある観光地づくり」を柱に、旧目黒小中学校の校舎を利活用した「新たな観光資源の掘り起こしの推進」と「豊似湖」など自然豊かなこの地の資源を活用したイベントの企画、立案、実施により、目黒地区を含めた過疎対

策、地域活性化、まちづくりの諸施策を講じて、地域振興を推進していきたいと考えているので、ご理解いただきたい。

## エゾシカ対策

◆質問 道がエゾシカ対策で新設する専門課とその業務内容はどのようなものか。浦河町の野生鳥獣処理場は当町でも利用可能か。

●答弁 新設課は、振興局から六月以降に具体的な業務内容が決まるのではないかと聞いている。

浦河町の処理場は、一日の処理能力が四頭なので、浦河町の分も処理



全道的に問題となっているエゾシカによる被害

できるか疑問であり、他町村の受け入れはできないとのことである。

囲いワナについては、当町は沢も浅く、奥が道有林ということ、条件的に無理と考えられる。今後の対策としては、町内を横断するようにシカフェンスを計画し、鳥獣被害防止総合対策事業の中で要望をしていく。これを設置できれば、山側からの侵入が防げ、フェンスより手前側にいるシカを駆除できると考えている。さらに、追い込み柵のようなものを数か所設置し、少しでもシカの頭数を減らす努力をしていく。

## 住宅リフォーム助成制度創設を

◆質問 住宅リフォーム助成制度を創設する考えはないか。

●答弁 管内では、平取町が三年間限定で行い、浦河町、新ひだか町も実施を予定している。

その内容は、最低工事額を設定したり、助成率を設けたりするものが多く、地元業者による工事を要件とする例が多くみられた。

本制度は、地元業者の振興を図り、地域経済の活性化にもつながることから、今後は実施している市町村の状況や、その波及効果を調査・

検討のうえ、制度の実施に向けて、前向きに検討したいと考えている。

## 職員の資質を高める施策を

◆質問 当町の実情と問題点の把握・発見ができるような研修をしてはどうか。また、早い段階で税務業務を経験させ、町財政と財源確保に対する理解を身に付けさせてはどうか。

課、係だけでなく、年代別の集まりで、直接町長と対話する場が必要ではないか。

●答弁 人材育成についての基本的な考えとして、「えりも町人材育成基本方針」を策定し、四月からこの方針にのっとり進めていく。その際、細かく町内の課題を把握することや、縦割り、横割りにこだわらない政策提言の機会など、効果的な方法や具体的な研修内容について、検討・整理して取り組みたいと考えている。

人事異動については、若手の職員には多様な職種を経験させることが大切だと考えているが、必ずしもそのようにいかない場合もある。しかし、適材適所を常に念頭に置きながら、人事を進めている。

◆質問 町主催の講演会などへ、町職員の参加が少ないが。

●答弁 職員の参加については、課長会議や周知文などを通じて働きかけている。行事あるいは職員個々によっても温度差があると思うが、自己研修としても大事なことであり、多くの職員が参加するよう引き続き督促していく。

### 庁舎ロビーに観光パンフを

◆質問 役場庁舎ロビーに、観光や案内パンフレットを置くコーナーを作ってはどうか。観光案内員の配置



展示品や物品販売など多様な使われ方をしている役場庁舎ロビー

が望ましいが、難しければ職員を兼務発令して、一階部分に窓口を設けてはどうか。

●答弁 観光客に説明を要することも多いことから、担当課のカウンターにパンフレットを配置しているが、玄関から近い場所の情報提供を行うことも有効であると考えられる。

一階ロビーは年間を通じて、他の行政機関からの展示や一部物品販売など多様な使われ方をしているので、規模を含めて前向きに検討したい。

観光案内員の配置や兼務での窓口対応は、現在の職員体制では難しい。庁舎内の窓口はもとより、職員全体が町内・町外者を問わず、来客者に対して適切な対応をするように努めていきたい。

### まちづくりの今後の方向

◆質問 基幹産業である漁業への基本的な考え方、さらに観光振興の基本構想と将来展望はどうか。えりもへの食の魅力を観光客に提供していく努力も必要だと思うが。

●答弁 「えりも町総合計画」によつて、まちづくりが進められているが、その中で漁業は「基盤整備を重点的に推進する」、「地場産業の活性

化を目指していく」のが基本的な考えとしてある。具体的には、漁業生産の向上や漁業基地の整備、漁業経営、水産加工と流通・衛生管理等の取り組みをさらに図っていくものである。

また、観光面は、えりも岬周辺地域での風の館・パークゴルフ場・オートキャンプ場と連動した取り組みや、四町広域宣伝協議会による活動を展開している。観光という、裾野の広い産業を農業、水産業、食品加工业などに関連させ、有力な成長産業として発展させていき、他にはない魅力づくりをしていくことが、えりも観光の将来につながると考えている。

食材の提供については、ほとんど満足に提供できていない状況だと思っている。食材を提供できるようにルールを確立するため、協議を進めている。

◆質問 まちの活性化をどこに求めようと考えているか。また、ボランティアを含め、町民活力を生かす方向を考えているか。

●答弁 町の活性化は、まちづくり、地域づくり、そして人づくりをいかに進めていくかだと思っているが、過疎対策と相まっての諸施策が必要と感じているところである。

町内の各ボランティアの活動は、まちの元気を醸し出す一因にもなっている。町では、協働のまちづくりを推進しているが、町民と役場がそれぞれ役割分担し、まちのためになることを一緒に行っていくというものが協働なので、その場面に応じた町民の活力が必要となり、さらに生かされる分野を検討していきたいと考えている。

◆質問 民間の提案を受け入れる場を作ることも必要ではないか。

●答弁 地区別町政懇談会、自治会長会議を開催し、また、「おらほのまちづくりトーク」を二十二年度から始めており、今後も継続していきたいと思っている。いずれにしても、町民の活力はいろいろな部分で吸収していきたいと考えている。

◆質問 他地域からの移住促進交流居住について、どう考えているか。

他地域からの移住者の存在が、町民の意識を変えていくのではないかと。

●答弁 移住への問い合わせは、ほとんどないが、当町では他の地域からの交流人口の拡大を図っているところで、それが移住促進につながればと期待している。今後は、管内との連携を進めながら、移住促進、交流居住の諸施策も検討したいと考えている。

## 北大との防災協定

◆質問 北大と防災協定を締結したが、防災まちづくりの見通しについて伺いたい。

●答弁 協定締結後に震災があり、昨年に行った新浜地区の避難訓練と同様に、役に立つ事ができた。

新聞報道されたように、今後具体的な協議がされるが、子どもの時から津波の恐ろしさを身につけさせることが必要だと考え締結した。ハザードマップも十分に検証し、再度また作成する可能性はあると考えている。

吉田和正議員

## 道道の暴雪対策

◆質問 通行止めが度々発生している歌露、東洋間の道道の坂道は、どのような除雪体制になっているか。また、道への働きかけや協議はどのように行っているのか。

国道も含めて、雪害対策が必要な箇所は、どれくらいあるのか。

●答弁 道標襟裳公園線は、室蘭建設管理部浦河出張所が管理し、町内業者が除雪や道路維持の委託を受け

ている。委託業者は十センチ以上の積雪を基準に出動し、タイヤドーザー一台、除雪トラック二台、グレーダー一台、ロータリー除雪車一台、融雪材散布車一台で対応している。開通は積雪量に左右され、その状況により一日で終わるときもあれば、それ以上かかることもあると思われる。

この路線の対策は、道にも要望しており、その結果、山側に高さ四・五メートル、延長三百四メートルの高性能吹き止め柵の設置を検討している。新年度予算の状況にもよるが、早ければ十一月頃までには工事に着手をしたいとのことである。

雪害対策が必要な箇所として、国道三三六号のアベヤキ川周辺に室蘭開発建設部がCCTVカメラを設置し監視体制を強化したが、今後、防風林の整備なども検討することなので、町でも継続して強く要望していきたいと考えている。

## 防災無線の戸別受信機

◆質問 戸別受信機を貸与している世帯数と個人で購入している世帯、さらにその中で助成を受けて購入した世帯数はどれくらいか。

戸別受信機を全戸に貸与した場合



配布に向けて、国や道に補助制度の働きかけをしている戸別受信機

の費用と、それに対する国や道の助成制度、補助制度はあるか。安価な機器で対応するという方法など、全戸設置に向けて検討してほしい。

●答弁 戸別受信機は、五百二十七世帯に貸与している。個人で購入している世帯は、町防災行政無線の設置及び管理運営条例施行規則にある目黒地区を除いては無く、よってその助成についても無い。

全戸に戸別受信機を設置した場合、二月末の世帯二千九百九十四世帯から先ほどの貸与分を除いた一台当たり五万二千五百円で算定すると、八千七百五十一万七千五百円の膨大な財源が必要となる。助成についても、国、道などの補助事業を精査し

ているが、該当する事業がないのが現在の状況である。補助制度の適用については、日高町村会、日高総合開発期成会を通して、道や国、各政党に対して強く要望している。全戸設置には、これらと合わせて、町単独経費、機器単価の安価化などを含めて検討しており、そのため、時間を要しているのをご理解願いたい。

◆質問 検討に時間がかかるのであれば、当面どのような方法で対処するつもりなのか。

●答弁 前述の管理運営条例、施行令のほかに内規を定め、半径三百メートルで聞こえるかどうかというのを目安にしている。それから独居老人、高齢者の世帯があれば、そこで三百メートルで聞こえなければ、あるいは町長が特に認めた場合については、戸別受信機を貸与している。特に聞きづらい、あるいは難聴地区については、そのような対策を講じているのでご理解いただきたい。

◆質問 町の取扱業者が無くなったが、故障時にどのような対応をしているのか。新たな業者の選定は、どのような形で行われるのか。戸別受信機だけを販売する業者の参入はできないか。

●答弁 当町は、パナソニックの機器を使っており、他社の製品とは互

換性がない。今後、全面更新や新たなシステム開発などがあれば、低コストで安価な受信機器の対応が考えられるが、現在はそのような状況にはなっていない。ただ、その金額については、現在パナソニックと交渉している。

故障対応としては、町職員が各家庭から回収して、パナソニックが修理することで対処している。今後の業者の選定については、パナソニックの意向も聞きながら、早急に対応していきたい。戸別受信機は販売に加え、修理への対応があるので、そのような業者を選定したい。

◆質問 パナソニックはどこから来ているのか。地元の業者で対応しているのか。

●答弁 パナソニックは札幌から来ている。今までの取扱業者は、機器の販売のほか、軽微な修理も引き受けてくれた。新たに選ぶ業者にも、今までのような形で引き受けてもらえるように、パナソニックの了承を得ながら話をしている。

石川昭彦議員

## 公営住宅の長寿命化計画

◆質問 「えりも町公営住宅長寿命

化計画」が示されたが、駐車スペースと戸数が足りないのではないのか。さらに大和C団地は、日影となつて町道の雪がとけないことや、建設後の景観が悪いなどの問題があるが。

●答弁 平成二年度の「ふれあいの丘団地」建設以降、公営住宅を建て替える場合は、原則として一世帯一台の駐車スペース確保を基本としている。一世帯に二台以上の車を所有する世帯も増えているが、同じ団地内で車を所有していない世帯のスペースを利用するなど、個々での対応をお願いしている。

戸数が足りないとの指摘については、長寿命化計画全体では将来の人口予測などから、全体の公営住宅必



長寿命化計画が作られ、建て替えが進められている公営住宅

用戸数を予測している。また、戸数だけではなく、持ち家、民間アパートなどのバランスも非常に重要になってくる。計画については、あくまでも現段階での予測であり、現状に合わなくなった場合は、その都度見直しを行うこととしている。

大和C団地の町道は、幅員や車道幅員からみても、町道として問題はないと考えている。ただし、現在の公営住宅には駐車スペースが無く、車道に駐車している入居者も見受けられることから、車両通行部分が狭くなっている。この点は、建て替え後に駐車スペースを確保すること

で、解消されると考えている。日当たりに関しては、限られた敷地の範囲内であるが、建物の配置などについて、設計の中で可能な限り考慮したい。景観についても、近年建て替えた公営住宅は、十分に配慮しているつもりだが、さらに配慮しながら計画を進めたいと考えている。

## 災害時のゴミ処理

◆質問 災害時におけるゴミの分別方法を明らかにし、その搬入場所の周知をすべきでないか

●答弁 ゴミの分別方法と搬入先



災害で発生したゴミの処理も今後の課題に。

は、普段と災害時に変更はなく、個人と公共施設に分けることもしていない。普段と違うのは、災害時のゴミ搬入は、企画課に被害報告をして、氏名・電話番号・搬入物・搬入量・搬入日を伺った上で、分別方法・搬入先をお知らせして無料で受け入れている。これは、普段のゴミと災害ゴミの判別、それから被害量などの把握のための確認である。

東日本大震災における当町のゴミの搬入については、これまでと比較できないほど甚大であり、これまでの受入れ方法では、町民みなさんへ手間をおかけするので、次の方法をとることとした。

①建物など、大型の物以外の搬入に係る被害報告の確認を省いたこと。

②不燃ゴミなどの搬入先を、国道側キャンプ場入口付近に一か所増設したこと。これは、庶野とえりも岬方面にも被害が多かったためである。

③漁業系産業廃棄物の搬入場所を設置し仮受けをしたこと。

④通常受け入れしていない物（家電製品やタイヤ等）を受け入れたこと。

本来であれば、分別方法や搬入方法を周知すべきであるが、災害時には普段のゴミと災害時のゴミが混同されることがあるため、周知をせずに町への確認を願っていた状況である。また、自治会・実行組合・漁協など団体から町に要請がくるケースが多いことから、これら団体に周知した。

いずれにしても、今回の東日本大震災を契機に、受入れ方法などについて検討したい。

町としては、災害時であっても、可能な限り分別をお願いしたい。これは、最終処分場を少しでも長持ちさせたいのと、海などの環境への影響がない衛生的な埋立てを行いたいからであるので、ご理解願いたい。

## 町内建設業の振興策について

◆質問 町内の建設業者振興策とし

て、住宅建設用地の確保、町内業者による建設住宅の固定資産税の減免、住宅ローンの利子補給などの対策を立てられないか。

●答弁 二十年度からの三年間で、個人住宅新築戸数は二十四戸、大和・本町・新浜地区に限定しても、三年間で十戸である。

このような現況と最近の景気動向を考えると、住宅建設用地として、例えば宅地の分譲などを行うだけの需要は、現時点ではあまり多くは見込めないと考えられる。しかし、景気などの状況変化や需要が増えた時には、持ち家や民間アパートとのバランスも考慮しながら、検討をする必要があると考えている。

固定資産税の減免については、地方税法の中で減免できる事項が定められており、本件には該当しない。

住宅ローンの利子補給については、管内では新冠町が定住・移住促進制度の中で、町内に住宅を建設、又は建売新築住宅を取得するために資金の融資を受けた場合、借入資金の利子補給制度をしている。そのほか、自治体が行う利子補給は、住宅ローン金利の一部について一定期間補助し、その率は％程度が多いようである。今後は近隣町村の実施状況を、景気の動向などの状況を見な

がら、その必要性について、十分検討する必要があると考えている。

## 全国学力テストについて

◆質問 えりも町を含む、管内の学力の低さについて、原因と対策をどう考えているか。

●答弁 全国学力学習状況調査の結果は、当町は全道平均より低い状況にある。家庭学習の時間が少ないこと、管内的に経験を積んだ教員が少なくということも、その要因として取り上げられているが、家庭学習の定着と繰り返し指導の徹底と改善、ノート指導の奨励などを一層進める必要がある。また、教員自身も日常の授業を主軸にした研修を深めていき、研究会や研修会への積極的な参加を強く求めたい。

二十三年度からは、広域的な人事異動を行い、他の管内から経験者を入れ、経験の浅い教員を他の管内に出して、四年後に帰ってくる方法で学力を上げようという取り組みを進めている。

当町の場合は、教育向上対策委員会ですべての課題を明確にし、それを学校それぞれで取り組み、学力を向上させていきたい。

## 私のひとこと

### かぜのまち

えりも町長 岩本博叙

#### 協働のまちづくり

「ハザードマップで避難誘導」「危機管理、体制に差」「息合わせ安全確保」「住民が自主的に対策本部」「災害ごみ撤去もテキパキ」「高台へ漁民ら一丸」「車に鍵をつけて出漁」等々。北海道新聞や日高報知新聞、朝日新聞が、えりも岬地区を取り上げたときの見出しであります。去る三月十一日発生の東日本大震災の津波による被害を受けたえりも岬地区で、住民らが自主的な避難行動を展開していただいた。「自分たちで何ができるかを考えた」、協働のまちづくりの実践をしての対応に、あらためて感謝と敬意を表します。

いつ起きても不思議ではないという災害、助け合いをもつて、安全確保に努めてほしい。







石川 昭彦



川村 一治



上野 勝廣



成田 一人



渡部 泰



大坂 庄吉



平野 正男



吉田 和正



手塚 裕警



高松 亮裕



笹谷 廣喜

## 町議選

# 町民の代表者十一人決まる

四年ごとに行われる町議会議員選挙には、定数十一人に対し、現職八人、新人四人の計十二人が立候補しました。  
四月二十四日に九つの投票所で投票が行われ、福祉センターでの開票作業の結果、下表のとおり、新しい町民の代表者十一人が決まりました。  
(敬称略)

### 第1回 臨時会

## 議長に渡部 泰さん 副議長に成田一人さん

新議員による第一回臨時会が五月十二日に開かれ、投票の結果、議長に渡部泰さん、副議長に成田一人さんが選ばれました。また、常任委員会や議会運営委員の選任なども行われました。  
常任委員長や監査委員の選任は次のとおりです。  
■総務文教常任委員長 川村一治さん、■産業民

生常任委員長 吉田和正さん、■議会運営委員長 石川昭彦さん、■日高東部消防組合議会議員 川村一治さん、平野正男さん、高松亮裕さん、■日高東部衛生組合議会議員 吉田和正さん、笹谷廣喜さん、■日高地区交通災害共済組合議会議員 手塚裕警さん、■監査委員 大坂庄吉さん

### 町議会議員選挙結果

区分	候補者氏名	得票数	党派など
当選	高松 亮裕	442	無所属・新
当選	吉田 和正	439	無所属・現
当選	渡部 泰	397	無所属・現
当選	笹谷 廣喜	375	無所属・新
当選	成田 一人	354	無所属・現
当選	上野 勝廣	312	無所属・現
当選	石川 昭彦	305	公明党・現
当選	大坂 庄吉	239	無所属・現
当選	手塚 裕警	239	無所属・新
当選	川村 一治	238.700	無所属・現
当選	平野 正男	211	無所属・現
次点	川村 光代	182.299	無所属・新
有効投票			投票総数
3,752.999		無効投票	19
			3,753

# 今年約七百三十万尾放流

## 歌別、目黒でサケ稚魚放流式

五月十日、歌別川サケマスふ化場と猿留川ふ化場で、えりも漁業協同組合（平野正男代表理事組合長）によるサケ稚魚放流式が行われ、約百万匹の稚魚が海原へ旅立ちました。

放流の前に、両場では母なる川への回帰を願った祈願祭が行われ、平野



放流したたサケ稚魚を見送る子どもたち

正男代表理事組合長やサケ定置網経営者など約三十人出席しました。神棚に捧げられた稚魚は「元気に帰って来いよ」と声をかけられながら放され、一斉に泳いでいきま

した。猿留川ふ化場では、庶野小学校一、二年生の児童も放流に参加し、川岸

まで両手で重そうにバケツを持ち、教員の助けを借りながら稚魚を放しました。児童たちは川岸沿いを泳ぐ稚魚をしばらくの間見送り、名残惜しそうな様子でした。今年約七百三十万尾を放流する予定です。

### 東日本大震災により被害を受けた方へ

東日本大震災により被害を受けた方は、所得税の軽減・免除が受けられ、税務署で手続きを行うことで所得税が還付になる場合があります。そのほか、源泉所得税の徴収猶予や還付、廃車となった自動車重量税の還付など特例があります。

詳しくは、税務署にお問い合わせいただくか、国税庁のホームページをご覧ください。

- 浦河税務署 ☎0146-22-4131
- 国税庁ホームページ <http://www.nta.go.jp>



見舞金を渡す岩本町長

### 被害復旧に役立てて

#### 大震災被害に見舞金

町は四月二十五日、東日本大震災による津波で建物が被災した町民に対し、見舞金を贈りました。

見舞金の額は、住家の床上・床下浸水被害に十万円、物置などの非住家に五万円、八十六件が対象になり

ました。

この日、岩本町長は新浜地区を皮切りに町内の各被災者宅を訪ね歩き、「役場でもやつと災害の後処理が終わわりつつある。遅くなつたが、復旧に役立ててほしい」と話し、各戸に見舞金を手渡しました。

新浜地区では津波によって護岸が倒壊し、各戸への被害を大きくしました。

### あなたの「ふるさと寄付金」が被災地支援に

被災自治体への寄付金や自治体を通じての被災者への義援金は「ふるさと寄付金」として、所得税・住民税の控除が受けられます。また、日本赤十字社や中央共同募金会等への義援金も「ふるさと寄付金」として、同様の控除が受けられます。

詳しくは、総務省東日本大震災関連情報ホームページをご覧ください。

- 総務省ホームページ <http://www.soumu.go.jp>

## 「火に気をつけてね」

園児が火災予防を呼びかけ

四月二十二日、光の園幼稚園（逆井栄子園長）の園児三十七人が、消防よりも支署前の広場でドライバーに火災予防を呼びかけました。

これは春の火災予防運動の一環で、防火半てん姿の園児たちは「火に気をつけてください」と声をかけながら、防火啓発チラシと日高東部危険物安全協会提供の車両グッズを手渡しました。



寒さに負けず、防火を呼びかけました。

熱心にゴミを拾う参加者



## 軽トラック二台分のゴミ

クリーン作戦

えりもロータリークラブ（山科幸一会長）恒例のクリーン作戦が四月二十九日に開かれ、約六十人がえりも小学校前から灯台公園までの道のりの清掃作業に従事しました。

クリーン作戦は、春と秋に町民の参加を募って行われ、この日も軽トラック二台分のゴミが集まりました。参加者からは「あるもんだねえ」との声が聞かれていました。

## 交通安全を願いながら

車両パレード



本町市街地を走る一団

春の交通安全運動が始まった五月十一日、町交通安全運動推進委員会による交通安全車両パレードが行われました。

近浦から出発した十五台の車両は、警察のパトカーを先頭に町内を一周。「交通安全運動」と書かれた黄色のステッカーを貼り、事故のない社会を築くために、安全運動を呼びかけました。

## エゾシカに強い関心

シカ角拾いボランティア

採草作業の支障となるシカの角を拾ってもらおうと、ひだか東農協えりも青年部が主催したエゾシカ落角拾いボランティア事業が、五月四日からの二日間、歌別、東洋、上歌別の各町有牧野で開かれ、札幌などから四十五人が参加しました。

ほとんどの参加者がシカ角を拾うことができ、成果品を手に満足げな様子でした。また、エ



上歌別の町有牧野で拾ったエゾシカの角を手にする参加者。

ゾシカ被害やその対策について質問が寄せられ、強い関心をもったようでした。

# こんにちはは保健師です

## お元気ですか？あなたの心

あなたの心は疲れてませんか

春は多くの方が環境の変化を体験する季節です。新しい環境に慣れてくる頃ですが、疲れがたまっている方も多いのではないのでしょうか。

疲れていることに気づかず張り続け、対処しないままにしていると、からだや心にさまざまな症状がでてきます。体調の変化は、「疲れがたまっている」という体からの警告です。

### 気分や意欲の変化

気分が沈む、自分を責める、不安、死にたくなる、イライラが強くなる、当り散らす、集中力低下、劣等感 など

### からだの変化

早朝覚醒、不眠、食欲がない、疲れやすい、性欲減退、頭痛、動悸、胃の不快感、めまい、手足がしびれる など

### 心の健康相談

自分自身でどうにもならないときには、ひとりで悩まず早目に相談することが大切です。

おかしいと感じたら周りも本人も早めに対応を！

浦河保健所 子ども・保健推進課 保健師まで  
☎ 〇一四六―二二―三〇七一

早い段階で異常に気づき、早めに対応することで、軽症のうちに回復することができず。  
ストレスと上手につきあうために

ストレスをすべて避けることはできません。だからこそ、ストレスがたまり過ぎないように自分のコントロール法を見つけ、十分に休養をとりましょう。

### 【ゆとりのある生活のすすめ】

- ・ 栄養バランスのよい食事
- ・ 適度な運動とぐっすり睡眠
- ・ ゆつたり入浴
- ・ 楽しめる趣味やレジャー

## 6月の保健メモ

(連絡先 役場保健福祉課 保健予防係 ☎ 2-4630)

行 事	実施日	時 間	会 場
麻しん風しん混合予防接種	7日(火)	15:30~16:00	町立診療所 (要予約)
日赤巡回診療	8日(水)、22日(水)	13:30~14:30	保健センター (要予約)
乳幼児健診	14日(火)	8:50~11:00	保健センター (個別通知)
マミィ〔母親〕教室(1回目)	16日(木)	13:30~15:30	保健センター (要予約)
三種混合防接種	21日(火)	13:30~13:50	保健センター
B C G 予防接種		13:50~14:00	保健センター
ポリオ予防接種		14:00~14:20	保健センター
麻しん風しん混合予防接種		15:30~16:00	町立診療所 (要予約)
マミィ〔母親〕教室(2回目)	23日(木)	13:30~15:30	保健センター (要予約)
心の健康づくり講演会	24日(金)	18:00~20:00	保健センター
二種混合予防接種	30日(木)	14:00~16:00	庶野診療所 (要予約)

### ●町立診療所

麻しん風しん混合予防接種  
接種日前週の金曜日までに保健福祉課保健予防係 (☎2-4630) へ予約が必要です。

### ●庶野診療所 (☎4-2219)

三種混合・B C G・麻しん風しん混合予防接種  
①実施日……毎週月・木曜日 14:00~16:00  
※要予約

### ●浦河日赤病院 (☎0146-22-5111)

麻しん風しん混合予防接種  
①小児科外来申し込み……1期(1~2歳)・2期(小学校入学前1年間の小児)・3期(中学1年生の年齢に相当する者)  
②医療連携課申し込み……4期(高校3年生の年齢に相当する者)

### ☀ヒブ、肺炎球菌ワクチンについて☀

開始が決まり次第、受け方・問診票などを、対象となる家庭へ個別通知します。



## 《おすすめ本》

エデン

近藤史恵・著

あれから3年一。白石誓は、たった一人の日本人選手として、ツール・ド・フランスの舞台に立っていた。だが、すぐさま彼は、チームの存亡を賭けた駆け引きに巻き込まれ、外からは見えないプロスポーツの深淵を知る。そしてまた惨劇が…。ここは本当に「楽園」なのだろうか？過酷なレースを走り抜けた白石誓が見出した結論とは。

## 《一般書》

■ 天皇家の隠し子

河原敏明

■ あたため整体学

宮川真人

■ 森の中にある小さな工房の和菓子レシピ

渡辺麻里 監修

■ 調律師、至高の音をつくる

高木 裕

■ おしまいのデート

瀬尾まいこ

■ ばんば憑き

宮部みゆき

## 《児童書》

■ 雲の不思議がわかる本

森田正光

■ 科学の目で見る特殊車

両 小倉茂徳

■ ふしぎなまちのかおさがし

阪東 勲・写真

■ たこきちとおぼっさん

工藤ノリコ

■ トリックアート図鑑だまし絵

北岡明佳・監修

■ こども文様ずかん

下中菜穂

## 防災 情報版 ⑧

### 家庭でできる地震への備え

## 今

月号では、三月に起きた東北地方太平洋沖地震の特徴と、将来の地震可能性をふまえて、地震防災のための注意点について考えていきたいと思います。

三月の巨大地震が起きた際に、「地震の規模を示すマグニチュードは九〇です」という報道がテレビや新聞などでなされました。これはどの程度の大きさだったのでしょうか。実は、今回の巨大地震によって解放されたエネルギーは、二〇〇三年十勝沖地震の十倍、一九九三年北海道南西沖地震の五十倍、一九九五年兵庫県南部地震の千倍に匹敵する、ととても大きく大きいものでした。

日本庭園における小径の中の飛び石のように、北海道から関東地方にかけての太平洋側では、大地震が起

きる場所が点々と分布しています。これらの場所がそれぞれ五十から百年程度の間隔ですれ運動を起し、大地震となります。しかし、複数の場所が同時にずれて、さらに大きな巨大地震になることもあります。三月の地震がまさにそうでした。

北海道付近では、襟裳岬の沖合から釧路、根室沖を経て北方領土沖にかけての地域が一度にずれて、三月の地震と同じような巨大地震となる可能性もあります。実際、過去の津波による堆積物を調べると、北海道付近では約五百年周期で巨大地震が起きた痕跡もみつかっています。前回の巨大地震が一六〇〇年頃だったことを考えても、次の巨大地震が近づいていると言えます。

今後起きるかもしれない大地震に備えて、いま一度防災点検をお願いします。ご家庭内の家具を固定し、地震時に家具が凶器にならないようにしたり、非常食や懐中電灯、手回し式発電ラジオなど、非常用持ち出し物の再点検をするとうよいでしょう。また、家族が最終的に合流する避難場所をあらかじめ決めておくと、家族が一緒にいないときに被災した際でも、お互いの安否確認が迅速におこなえます。まずは、身の周りのことができることから始めることが大切です。



山田卓司

北海道大学大学院理学研究院 附属地震火山研究観測センター・助教  
京都大学にて学位取得後、東京大学研究員、ボストン大学研究員、アメリカ地質調査所ハワイ火山観測所研究員を経て二〇一〇年四月より現職

# お知らせ



## 犬や猫の放し飼いはやめましょう

犬や猫の放し飼いは、寄生虫や細菌などの病原体に感染したり、交通事故にあつたりする危険性があります。また、散歩中に犬を放すと、子どもを追いかけたり、人を咬むなどの事故が起きたりしますので、絶対にやめましょう。

飼い主として散歩中にした犬の「ふん」は必ず持ち帰り、「ふん尿」や「鳴き声」などで地域の方に迷惑をかけないようにしましょう。

### ●お問い合わせ先

町民生活課環境生活係

(☎二一四六二二)

## 狂犬病予防注射の日程

狂犬病予防注射を、次の日程で行

います。各地区の接種時間など、詳しくは別途お知らせします。

### 日程

- ・六月二十一日(火) 近浦地区く新浜地区
- ・六月二十二日(水) 歌別地区く苦別地区
- ・六月二十三日(木) 上歌別地区く目黒地区

午後から往診

### ●お問い合わせ先

町民生活課環境生活係

(☎二一四六二二)

## 『光』が始まる

町民の皆さんからご要望いただいたておりましたNTT東日本の光ブロードバンドサービス「フレッツ光」の提供開始時期が決定しました。

大和地区が六月二十日からサービス開始となり、笛舞・近浦・本町・新浜地区が八月末を目途に順次提供可能となる予定です。

なお、「フレッツ光」の利用について仮申込書を提出いただいた方へ

は、NTT東日本から業務を委託されている「株式会社イオス」が電話等で確認を行うことになっていきますので、お知らせします。

また、今後は光ファイバーの敷設

工事が本格化し、工事期間中は光ファイバーを仮設する工事が行われます。このため、工事関係者が土地の所有者に工事に関する同意、敷地への立ち入り等にお伺いする場合がありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

### ●お問い合わせ先

企画課振興係 (☎二一四六二二)

## 教科書展示会を開催

教育委員会では、教科書の適正な採択と教育関係者の教科書教育に資するため、教科書展示会を開催しています。

来年度から新しくなる中学校の教科書を中心に小学校や高等学校で使用される教科書を町民みなさんにも公開していますので、ぜひご来場ください。

日時 六月十七日く七月一日

午前九時く午後五時

会場 福祉センター図書室

休館日 火曜日

## 夏山の遭難防止

山の雪解けと共に登山やハイキングなどで、山に出掛ける機会が多くなります。山岳遭難を防ぐために、

あつまれ！一歳児



## すくのび

「すくのび」は、「すくすくのびのび育て」の願いを込めたタイトルです。



きたむらけんすけ  
北村健介くん  
(文彦・由記)  
H22.6.3生(えりも岬)

食べることと、お姉ちゃんが好きなお元気がパワフルっ子です。



もとかわまほ  
本川真帆ちゃん  
(昌史・清美)  
H22.6.5生(新浜)

絵本をめくったり、あちこち散らかしまわっています。



さとうことは  
佐藤琴羽ちゃん  
(将志・直子)  
H22.6.30生(大和)

お姉ちゃんのおあとについて遊んでいます。

次の点に注意しましょう。

■登山は、十分な装備とゆとりのある計画を立て、自分の体力や技量に合わせた登山に心掛けましょう。

子育てテレホンサービス

- 【小学生期】  
依頼心の強い子ども 6/8~6/14
- 【中学生期】  
無断外泊をする子ども 6/15~6/21
- 【親の学習】  
しつけは「つ」の付く年齢までに  
6/22~6/30
- 【幼児期】  
絵本好きな子どもにするには  
7/1~7/7

(☎〇一四六一三二一〇二一〇)

●弁護士相談

弁護士相談センターでは、次のおり相談を受け付けています。相談には予約が必要です。

- 浦河相談所  
六月十三日 十三時~十六時
- 静内相談所  
六月八・十五・二十・二十二・二十  
七・二十九日、七月四・六日  
十三時三十分~十六時三十分

月~金曜日 十時~十六時  
☎〇一四六一四二一八三七三

♥ご厚志に感謝します

- 金子昭一さん(庶野) 五万円
- デイサービスセンターへ 五万円
- 東庶野自治会へ 五万円
- 庶野老人クラブへ 五万円
- えりも漁協庶野女性部へ 五万円
- 杉本修身さん(東洋) 五万円
- 東洋第一自治会へ 五万円
- フラワーショップえがわ 五万円

東洋第一自治会へ 一万円

○山岸純市さん(歌別)

歌別第三自治会へ 十万円

○吉田康二さん(新浜)

新浜自治会へ 五万円

新浜自治会女性部へ 五万円

新浜老人クラブへ 五万円

特養ホームやまと苑へ 三万円

★社協のボランティアセンターへ

荒井恵利子さん(庶野) 三万円

♡震災見舞金

震災見舞金として、次の方々からご寄付がありました。この場を借りてお礼申し上げます。

- 日本都市設計(株)(札幌市) 十万円
- (有)日高清掃社(様似町) 十万円
- えりも建設協会 三十万円

一人五百円で大きな安心

交通災害共済に

加入しましょう!

掛金年五百円で最大八十万円の  
見舞金を受け取れます。

お問い合わせ先

町民生活課環境生活係

(☎二一四六二二)



雲雀落つ雨の気配の暮天かな  
 災害や帰らぬ時間木の芽ぶく  
 チュウリップ顔出している日和かな  
 思い出の糸たぐり寄せ猫柳  
 ふきのとう夕餉の膳の一品に  
 日溜りに触れるともなく芽木の風

小山内栄峰  
 蛭名 渚  
 川村 和子  
 佐々木蓉子  
 佐々木凌子  
 鈴木 周子

(えりも吟社)

## 町文化協会40周年記念事業

昭和46年に結成した「えりも町文化協会」は、今年で40周年の節目の年を迎えます。

それを記念した二つの事業が行われますので、どうぞお気軽にお越しください。

温泉教授 松田忠徳 文化講演会

「温泉を楽しみながら健康になる」

日時 6月21日(火) 19時～(18時30分開場)

場所 福祉センター

「温泉教授」の異名で知られる温泉学の第一人者。温泉の選び方、使い方、効能についてなど、科学的根拠と共に楽しくわかりやすくお話しします。

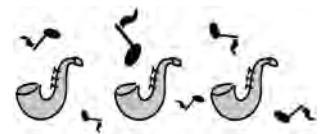


東海大四高校吹奏楽部演奏会

日時 6月25日(土) 19時～(18時30分開場)

場所 えりも中学校体育館(上履きを持参してください)

東海大学付属第四高等学校の吹奏楽部による演奏会です。1978年から連続して全日本吹奏楽コンクールに出場し、金賞に輝



くこと15回。全国の高校吹奏楽部の頂点を走り続けている、力強く雄大な演奏をぜひお楽しみください。

## 人のうごき

(平成23年4月28日現在)

近浦	181人	67世帯		
笛舞	302人	123世帯		
大和	1,075人	456世帯		
本町	925人	411世帯		
新浜	676人	295世帯		
歌別	381人	144世帯		
東洋	412人	134世帯		
えりも岬	571人	212世帯		
庶野	735人	273世帯		
目黒	174人	76世帯		
合計	5,432人	2,191世帯		
	(男 2,688人	女 2,731人)		
転入	52人	転出	33人	
出生	1人	死亡	7人	

## 税の納期

◆町道民税 第1期

(納期限 平成23年6月30日)



観光客で賑わうゴールデンウィークの襟裳岬(5月3日)

## 6月の行事

28日	26日	24日	19日	18日	16日	11日	9日	5日	4日							
13時30分～)	管内身障者スポーツ大会(町民体育館/10時～)	北大相互協力協定シンポジウム(福祉センター/13時30分～)	「命と心を支えあう」(保健センター/18時～)	心健康づくり講演会	保野保育所/9時30分～)	えりも小学校・東洋小学校運動会(えりも小学校8時30分～/東洋小学校9時～)	えりも小学校・東洋小学校運動会(えりも小学校8時45分～)	えりも岬小学校・保野・連自治会合同運動会(えりも岬小学校/8時)	えりも岬小学校・保野・連自治会合同運動会(えりも岬小学校/8時)	戦没者慰霊祭(福祉センター/11時～)	えりも小学校運動会(笛舞小学校/9時～)	福祉センター/優良13時～13時30分・一般14時～15時)	運動免許証更新時講習(福祉センター/優良13時～13時30分・一般14時～15時)	えりも中学校体育大会(陸上競技場/8時5分～)	庶野小学校運動会(庶野小学校/9時～)	4日

北海道・えりも町企画課 住所：北海道幌泉郡えりも町字本町206番地 電話：01466-2-2111

Eメール：erimo@sage.ocn.ne.jp FAX：01466-2-4633 発行日：平成23年6月2日